

藤子・F・不二雄ミュージアムは開館10周年を迎えます！

川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムは令和3年9月3日で開館10周年を迎えます。この10周年を記念するとともに、同館の魅力や認知度をますます高め、地域の活性化を図るため、次のとおり10周年記念事業を実施いたします。

1

『ポケットミュージアム』の巡回展示開催

9/3
(金) ~

- ミュージアムの原画展示をコンパクトに再現した『ポケットミュージアム』が市立図書館7館を巡回します。9月3日（金）に多摩図書館からスタートし、順次巡回します。
- 川崎市ゆかりの藤子・F・不二雄氏のまんが原画に親しむ機会を作り、ミュージアムの魅力を伝えるため、複製原画や藤子・F・不二雄氏のまんが制作に関わる資料を展示します。
- 展示の見どころ
藤子・F・不二雄氏が描いたまんがの原画（複製）とともに、鑑賞ポイントの解説、まんがを描く道具を展示します。コンパクトながら本物の鑑賞体験ができる空間を再現します。



2

まんが『100年 ドラえもん』の寄贈 〈藤子・F・不二雄プロ〉

□株式会社藤子・F・不二雄プロ（代表取締役赤津一彦）から市立図書館に『100年 ドラえもん』を寄贈していただきます。
全45巻 計7セット（各館1セット）

□装幀・印刷・製本など、徹底的にこだわった、「100年先の未来まで読み継がれる、永久保存版『ドラえもん』」です。

□巡回展示『ポケットミュージアム』での活用を検討しています。

9/3
(金) ~

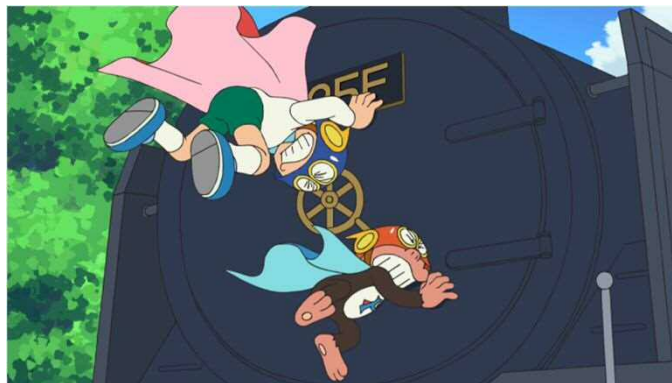
3

藤子・F・不二雄ミュージアム Fシアター新作上映 〈藤子・F・不二雄ミュージアム〉

□9月1日（水）から、Fシアターにて、新作『ドラえもん&Fキャラオールスターズすこしふしぎ超特急(エクスプレス)』を上映します。（約11分）

□作品の見どころ

どこからともなく現れた機関車、「すこしふしぎ超特急」に乗り込んだのび太とドラえもん。車内には21エモンやウメ星デンカ、黒べえやオバケのQ太郎などさまざまな乗客の姿も。行先不明の列車に乗ってふしぎな旅をするはずが、ハプニングで列車から落ちてしまったのび太とドラえもんは、なぜか巨大な始祖鳥の化石のパケモノにおいかけれ…！？10周年らしくたくさんのキャラクターが出演する、楽しい短編アニメです。



©Fujiko-Pro

9/1
(水) ~

4

ミュージアム直行バスのデザインリニューアル

□小田急線及びJR南武線登戸駅からミュージアムまでを結ぶ
直行バスのデザインを10周年を機にリニューアルします。

9/3
(金) ~

大型車



中型車



©Fujiko-Pro

その他2両は
R3年11月、
R4年1月
リニューアル
予定!

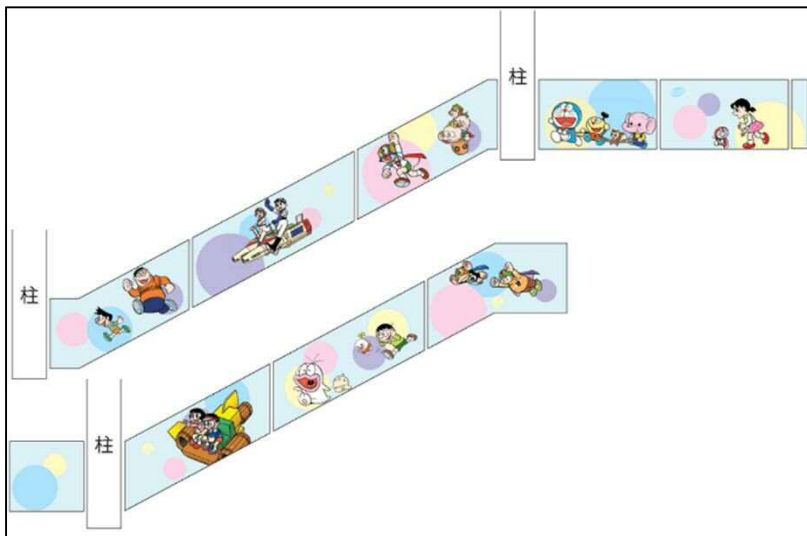
5

登戸駅生田緑地口 階段装飾

□JR南武線及び小田急線の改札口から直行バス乗り場へ続く階段の内側に
10周年を機に藤子・F・不二雄キャラクターの装飾を行います。

9/3
(金) ~

小田急線側 装飾イメージ



小田急線側階段 現況



©Fujiko-Pro

6

登戸駅、新百合ヶ丘駅での10周年記念フラッグの掲示

- 登戸駅南北自由通路、新百合ヶ丘駅南口に
8月中旬から9月中旬の1か月限定で
10周年記念フラッグを掲示します。

8月中旬～
9月中旬

登戸駅



※イメージ

新百合ヶ丘駅



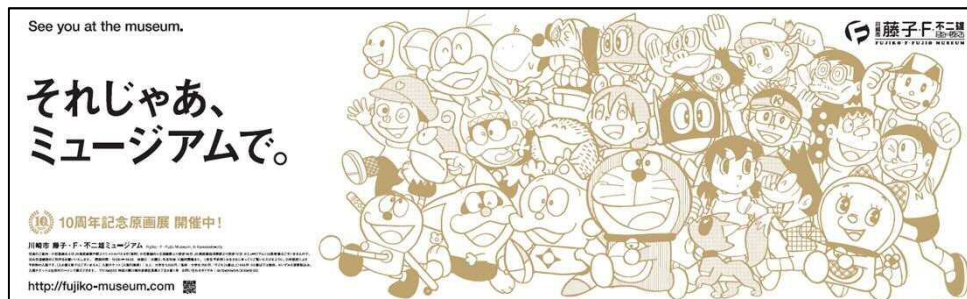
※イメージ

7

川崎駅中央通路壁面広告の掲示

- 川崎駅中央通路に10周年記念ポスターを
8月11日（水）から8月31日（火）まで
期間限定で掲示します。

8/11(水)～
8/31(火)



©Fujiko-Pro

〈参考〉

協力：株式会社藤子・F・不二雄プロ

【問合せ先】

1～3、5～7については川崎市市民文化局
市民文化振興室
電話 044-200-2416
FAX 044-200-3248

4については川崎市交通局
企画管理部 経営企画課
電話 044-200-3217
FAX 044-200-3946

藤子・F・不二雄ミュージアムで 「のび太」由来の名前がつけられた恐竜の 足跡化石のレプリカを展示します！

8/14
(土) ~

中国四川省で新種の肉食恐竜の足跡化石が発見され、その化石に『ドラえもん』の「のび太」の名前がつけられました。そのレプリカを**8月14日（土）**から特別にミュージアムで展示します。

2021年7月、中国地質大学の恐竜足跡研究チームが「中国四川省の白亜紀前期足跡化石の新種エウブロンテス・ノビタイ」に関する論文を公開しました。最後の「ノビタイ」の部分が、ドラえもんの「のび太」に由来します。

□命名の経緯

2020年7月、四川省で発見された足跡の化石を中国地質大学のシン准教授らが詳しく調査した結果、肉食の恐竜エウブロンテス類の新種であることがわかり、今回の命名に至りました。

- シン准教授（39）は、子どもの頃からの『ドラえもん』ファンで、中国で公開された『映画ドラえもん のび太の新恐竜』（日本では2020年8月公開）の中で、のび太が新種の恐竜に自分の名前をつけているのを見て、今回の足跡にのび太の名前をつけたいと考えました。学名はラテン語の文法でつづられるのが基本で、「のび太」に人名を示す接尾辞「i（イ）」をつけて「エウブロンテス・ノビタイ（*Eubrontes nobitai*）」と命名したそうです。

発見された化石のレプリカ



藤子・F・不二雄先生は、恐竜が大好きでした。

映画ドラえもんの最初の作品『大長編ドラえもん のび太の恐竜』は、フタバズキリュウの子どもをのび太が育て、白亜紀に送り返す物語です。この他にも数々の恐竜が登場するお話があります。

今回ののび太の名前が化石につけられたのも、藤子・F・不二雄先生の恐竜への強い思いがあったからだといえるでしょう。

ミュージアムでは、ドラえもん50周年を特集した展示の中で、『大長編ドラえもん のび太の恐竜』から『映画ドラえもん のび太の新恐竜』への流れとともに、エウブロンテス・ノビタイの足跡化石のレプリカを紹介します。ぜひご覧ください。

【問合せ先】

川崎市市民文化局市民文化振興室

電話 044-200-2416

FAX 044-200-3248